

リサイクル  
クリーン

ボイラーホーム、RPF工場新設  
集荷拠点と需要地近接の立地活かす

浜松市の産廃業者であるリサイクルクリーン（藤城太郎代表取締役社長、静岡県浜松市天竜区二俣町二俣四一）を訪問し、今年三月に稼働を始めたRPF製造の袋井工場を見学した。同社は、建設廃棄物処理や建物解体工事から自動車解体、資源回収まで幅広い事業領域を手掛け、浜松を起点に事業を展開してきた。RPFを製造する施設は五百六十坪の広さで、最大四千三百トンのRPF生産能力を有し、六億円を投資した。日本へ、営業二刊第一ラ

日本への販賣は終了

スーが導入されることを盼み、今年三月にRPF製造の袋井工場を立ち上げた。

既存の廃工場の隣地にR&D工場を増設。土地や設備を含む投資額は六億円に

RHFの製造は安定し  
た原料をいかに調達できる  
かがカギ。生産量を伸ばす

女性も起用するなどして営業攻勢をかける。

上つた。もともとRPF原  
料となる混合プラの産廃を  
月間七百トン処理していた  
ことや、富士までの距離的  
なメソットも後甲ノ二。

える中央部。関東・関西間を行き来し、処理費が割高となつてゐる産廃を、コスト削減を訴求して袋井で受け入れる考えだ。今春に十一名を新卒採用してお



A black and white photograph of a modern, single-story building with a curved roofline. The words "MATSUYAMA CYCLE CENTER" are printed vertically along the side of the building. A paved area with several cars is visible in front of the entrance.

A black and white photograph showing the interior of a large industrial building. The space is characterized by a high ceiling supported by a network of steel beams and numerous long, linear fluorescent light fixtures. On the right side, there is a complex mechanical structure, likely a conveyor belt system, with various metal components, pipes, and ladders. In the foreground, a large pile of material, possibly raw materials or waste, is visible. The floor appears to be concrete, and the overall atmosphere is one of a functional industrial environment.

六時間の稼働で、月間八百トントンほど生産している。月間最大四千二百トントンまで生産が可能。将来的に原料の納入が増えれば、三交代制による二十四時間稼働を実現させる。製造工程は、①原料をホッパーに投入、②破碎機で六十分リメートル以下の大きさに破碎、③ふるいで砂状分除去、④磁選機で金属除去、⑤ドラム磁選機で再度金属等に混合、⑥定量供給機で均し型成形機でRPFに加工、⑧RPFの温度を下げるため、水沈コンベアーで冷却、⑨RPFが貯留ビットに移される。押し出し式の成形機は金属に強いのが特徴だ。

廃棄を古紙代わりに多用  
原料に使用するのは、廃  
プラが約五〇%、畳が約五  
〇%。古紙は安定的に入る  
ことが難しく、畳が紙の代  
替え原料になつてゐる。袋  
井工場に入る廃プラは、原  
則的に他の工場で選別処理  
を施した後、ベールまたは  
バラの状態で袋井工場に搬  
入される。廃棄は、同社が  
解体業を手掛けているほか、  
解体系の協力会社三十社が  
ら調達している。四つの産  
廃工場で手選別を施して、  
塩ビなどを除去し、さらに  
袋井の既存工場に導入した  
バリオセパレーターで重量  
比による精選別を行う。こ  
こで可燃性と非可燃性のブ  
ラを分けている。他工場は  
選別機能をもつてゐるだけ

でなく、ストックヤードを兼ね、それによって袋井工場は、最低限の原料だけで運営が可能となつてゐる。なお、同社のRPF既存施設として大川工場と桜台工場がある。それぞれ月間百トンほどのRPFを生産していた。大川工場では時間一トンの生産能力。桜台工場はM&Aにより取得した工場で、時間二~三トンの生産能力がある。桜台だけは、小径のリンクダイ式のRPFを製造する。

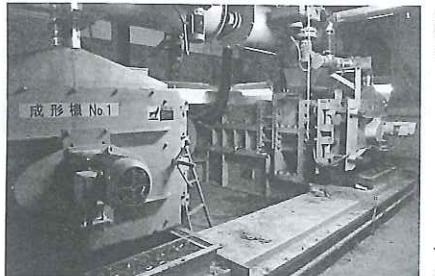
全量を王子に納入

RPFは成形後に自然発火することもあり、防火設備が欠かせない。袋井工場には七台のライブカメラを備え、當時、内部の様子を遠隔監視できるようにして

いるほか、集塵機、ミスト、シートシャッターを備えている。ピットに入るRPFの温度は四十度以下に抑え、六十度以上に上昇すると散水装置が作動する。

袋井工場で製造したRPFは、全て王子マテリア富士工場に販売。二十五トン車両で一日二回、計約五トンを納めている。他工場のものは一部、特種東海製紙に販売している。袋井では蛍光X線による成分分析器を導入して、一時間に一回、塩素分と硫黄分を検査。塩素はボイラーの配管を腐食し、硫黄は配管にこびり付くため敬遠される。RPFの品質は、他にカロリー、や灰分、含水率が考慮され、塩素分が出やすいのは、

の許認可をもとに事業を開きながらも、社是のひとつに「資源を大切にします」とあるように、資源化に重きを置いている。古紙の扱いは、浜松営業所にペーラーを一台備え、月間千五百トンほどの扱い量がある。他工場にも計四台のペーラーがあるが、主に廃プラを梱包するために使用。古紙の販売先は、段ボールや機密書類は主に興亜工業に納める。新聞や雑誌などは商社経由で国内メーカーに納入。RPFの大半を王子向けに納めているものの、古紙は直接、王子向けの販売がない。このようにRPFと古紙では取引慣行も違うため、納入先が異なることも少なくない。



A black and white photograph of an industrial injection molding machine. The machine is a large, complex piece of equipment with a hopper at the top left and a vertical cylinder on the right. A label "成形機 No.1" (Molding Machine No. 1) is visible on the left side of the machine's body. The background shows some structural elements of a factory.



(株)リサイクルクリーン 会社概要

設立	1987年(昭和62年)
代表者	代表取締役 藤城 太郎
本社	〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41 TEL(0539)25-1366 FAX(0539)25-6030
資本金	8,200万円
年間売上	46億円(2013年実績)
事業内容	リサイクル関連事業・産業廃棄物收集運搬処分・一般廃棄物收集運搬・資源回収・清掃業・建物解体業・自動車小売業・損害保険代理業・不動産業・医療系廃棄物・バイオ・ディーゼル燃料・機密書類リサイクル・RPP製造
工場	第一工場・第二工場・大川工場・浜北工場・磐田工場・袋井工場・浜松営業所・岡部工場・協同センター・桜台工場